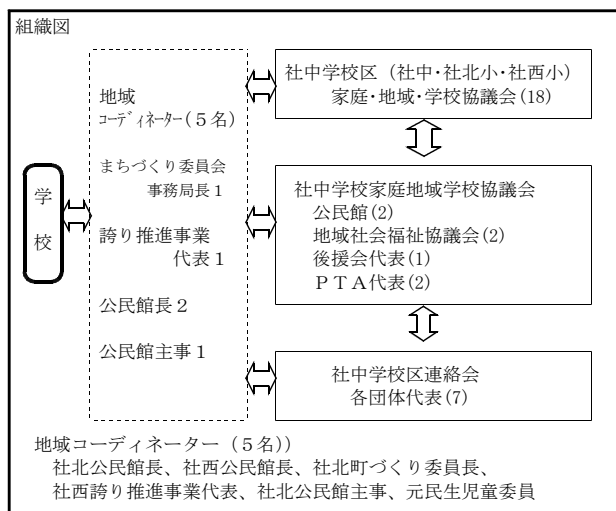


## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



### (2) 協議会の内容

①開催回数 3回

#### ②開催日程

6月、1月、2月

#### ③協議内容

6月 活動計画、授業や行事の参観

1月 教育ウィーク実施、地域活動参加

2月 活動報告、学校評価

次年度に向けて

### (3) 協議会における成果と課題

協議会で、今年度より社中学校区3校合同で実施した「ノーメディアチャレンジ週間」の取組について報告し、ご意見をいただきました。

社中学校区3校の生活実態調査の結果、ゲームを含めたメディア使用時間が全国平均に比べ長いことがわかった。そこで、児童生徒の視力低下を防ぎ、目の健康への関心を高めることを目的とする、県「子どもの目健康プロジェクト」の一環として、「ノーメディアチャレンジ」に取り組んだ。中学校の定期テストに合わせ、小中同時期に年2回実施した。協議員からは、「年度当初に、地区や保護者に対する事前の周知を行うことで、より高い効果が期待できたのではないかと。次年度以降、地区やPTAとしても協力したい。」という意見が出た。生徒の感想にも、「実施前の平日4.5時間から、実施後は、1.5時間に減った。」など、良い感想が多く見られた。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

地域との連携・交流を推進し、生徒を地域活動に参画させることによって、社会力の向上を目指し、地域を担う人材を育成する。

### (2) 活動の実際

#### ①社北地区体育祭<吹奏楽部・放送部・陸上部> 5/26

地区の体育祭の運営に生徒がボランティアとして参加した。吹奏楽部は、開会式で小学生からお年寄りまで楽しめるような曲を選び演奏した。また、放送部は開閉会式を含め進行のアナウンスを実況を交え行い、陸上部は競技審判や用器具を担当し、スムーズな運営に協力した。



## ② P T Aバザー「ミニコンサート」＜吹奏楽部・弦楽部・執行部＞ 6/16



P T Aのバザーに来られた地域の方を楽しませるために、吹奏楽部と弦楽部によるミニコンサートを開いた。途中、観客に参加してもらった場面を設定し、コンサートを盛り上げた。執行部は、小学生や幼児が楽しめるゲームを企画・運営した。



## ③合唱コンクール＜全校生徒＞ 6/28

校下の小学校2校の6年生を招き、音楽を通じた交流を行った。小学生の澄んだ歌声と中学生の厚みのある合唱が披露され、お互いに刺激を与えた。



## ④社西地区ふれあいまつり＜吹奏楽部＞ 10/20

吹奏楽部が社西公民館で行われた、お祭りに参加した。幅広い年齢層に合わせた曲を選び、歌ったり手拍子をする場面を入れ、一緒に楽しんだ。

## ⑤西部緑道イルミネーション点灯式＜科学部・吹奏楽部・美術部＞ 11/16

地元にある西部緑道を多くの人が集まるような場所にしたと考え、LEDランプを使ってライトアップに取り組んだ。夏休み頃からライトアップのデザイン等を生徒達が考案し、社北公民館や社北子ども会育成連合会等と連携して活動した。



## ⑥社北地区演奏会＜弦楽部・吹奏楽部＞

社北地区の演奏会に参加し、日頃お世話になっている方々への感謝の気持ちを込めて、楽器を演奏した。小さい子どもからお年寄りまで、幅広い年齢の方が楽しめる選曲をし、練習を重ね、演奏会に参加した。

### (3) 地域コーディネーターの活動概要

毎年4月に、地域活動推進委員会を開催し、活動の進め方や年間予定について確認を行っている。具体的には、西部緑道ライトアップのデザインや、施設訪問、演奏会で演奏する曲の選定に、ご意見をいただいたり、施設訪問や演奏会に参加する際に、楽器の運搬等にご協力いただいたりした。

### (4) 特に工夫した事項

地域コーディネーターに負担がかからないように、相談したり意見を伺ったりする場合は、他の行事等で顔を合わせる機会を利用した。

### (5) 成果と課題

まちづくりワークショップに参加し、地域活動への提案（企画）をし、実行に移すことができた。また、地域で実施されている、いろいろな活動に参加し、地域の一員として活動や地域の方々と交流することで、地域への愛着や関心が高まっている。

地域活動への参加生徒（延べ）人数は、今年度も、全校生徒数を上回ることができたが、一度も参加できなかった生徒もいるので、全生徒が参加できるように、開催時期や参加募集方法等、今後も継続して検討していきたい。